

沓掛小学校 放課後子ども教室

沓掛小学校児童クラブとの一体型

■ 一体型の概要

沓掛小学校放課後子ども教室については、児童クラブ加入児童の受入れも行っています。週5日の開催、児童クラブ加入児童は下校後、クラブを経由した後の受入れとなっています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

工作や催しの際には、学年や下校時間を考えて事前に入念な下準備を行い、子ども達が時間内で完成させ遊べるように工夫をしています。また、地域のボランティアの方たちにご協力いただき、子どもたちの視野が広がるように様々な体験ができる機会を設けています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

スポーツ体験・防災教室・楽器体験等

■ 課題

現在、廊下の一角にある多目的スペースで講座を実施しています。安全上、多目的スペースでは身体を動かす事ができないため、体育館や校庭を週に2回利用し身体を動かす機会を設けるなど、工夫をしています。

■ 成果

地域のボランティアの方の協力のもと、日頃の授業では経験できない体験をすることで、子どもたちの健全な育成に繋がっています。また、体育館や校庭を使ってのびのびと活動し、楽しい放課後の時間を過ごしています。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週5日

■ 参加人数

約20人／日

■ 主な活動場所

多目的スペース

■ 指導員数

約4人／日

豊明小学校 放課後子ども教室

小学校の空き教室で週5日開催

■概要

小学校の空き教室活用して、子どもたちに遊びや自主的な学習、スポーツ、文化活動、体験、交流活動等を行う場所及び機会を提供しています。

■特徴的なこと・工夫していること

身近なSDGsを意識し、「未来の環境の為に今できる事を講座に取り入れ、子どもたちと一緒に考える機会を作っています。また、子どもの自主性を尊重し、スタッフは見守りや声掛けを行っています。

■プログラム内容

地球温暖化問題を考える講座・スポーツ体験・季節に合わせた工作等

■課題

サポートスタッフが減少しており、新たな人材の確保が課題です。また、子どもの特徴や特性に応じて、臨機応変な対応が必要です。

■成果

子どもに寄り添った活動を心掛けているため、「毎日、行きたい!」と思ってくれる教室となっています。地域のボランティアの方との交流を持つ機会になっており、子どもたちにとって学校以外の楽しい居場所となっています。

■活動の様子



■開催状況

週5日

■参加人数

約20人/日

■主な活動場所

学校の空き教室

■指導員数

約4人/日

赤池小学校 放課後子ども教室

－ 赤池小学校児童クラブとの一体型 －

■ 一体型の概要

日進市放課後子ども総合プランでは、放課後児童クラブと放課後子ども教室との一体型を基本とし、放課後子ども教室では、市内の小学校内において通学するすべての子供のうち利用申込みがあった子供を対象としています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

夏季休業中も学校施設を利用して、安全で安心な居場所を確保しながら、様々な学習や体験・活動の機会を提供しています。

夏季休業中は滞在時間が長くなるため、多種多様なプログラム提供など、飽きのこないよう工夫しています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

キッズヨガ（運動）、読み聞かせ（鑑賞）、近隣大学生との交流イベント（工作等）、ミニ音楽会（鑑賞）

■ 課題

夏季休業中は熱中症の心配があるため、子供たちが外で体を動かしたくても、室内で過ごす時間が多くならざるを得ないため、室内でも体を動かすことができるよう、小学校内の施設を活用する等の工夫をしています。

■ 成果

夏季休業中も朝から実施することで、子供たちも普段と同じような過ごし方ができています。

子供たちの居場所を不安視する保護者に対して安心感を与えることができています。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週 5 日

■ 主な活動場所

小学校内の専用室等

■ 参加人数

各教室により異なります。

■ 指導員数

1日あたり約 6 人

放課後子ども教室～夏休み体験プログラム～

放課後児童クラブとの連携型

■連携型の概要

夏休み期間中、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの児童を含めた町立小学校に通う児童（希望者）を対象に「英語」の体験型プログラムを実施しました。（全6小学校で実施）

■特徴的なこと・工夫していること

「楽しく学べる」をテーマとし、単なる勉強とにならないよう、タブレットを使ったクイズやダンスを通して体全体を使った内容としたりするなど、子ども達の興味・関心を引き出す工夫を施しました。

■連携型で実施するプログラム内容

英語

■課題

放課後子ども教室及び放課後児童クラブは、異学年が一緒に交流して活動するため、参加者全員が満足できるよう、各学年の習熟度に応じた内容とする工夫が必要だと考えています。

■成果

- ・子供たちの交流を図ることができました。
- ・英語に対する興味・関心を高め、今後につながるきっかけづくりを図ることができました。（受講児童のうち、低学年では97.6%、高学年では100%が「楽しかった」と回答。非常に高い満足度を獲得。）

■活動の様子



■開催状況

夏休み（8月）に6日間実施

■参加人数

延べ184人

■主な活動場所

小学校の特別教室等

■指導員数

6人～8人／回

東小学校放課後子ども教室

—東児童クラブとの一体型—

■ 一体型の概要

東小学校放課後子ども教室は、東小学校に通うすべての児童が対象です。学校内の多目的教室で、放課後子ども教室と児童クラブを実施しています。年に数回程度、共通の体験プログラムを実施します。

■ 特徴的なこと・工夫していること

地域ボランティアの方々の御協力をいただき、様々な体験プログラムを実施しています。共通の体験プログラムの実施には、事前に放課後子ども教室と児童クラブの指導員同士で打合せをしています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

キッズ防災教室、人形劇鑑賞、科学教室など

■ 課題

共通で実施する体験プログラムについては、費用のかからないものを選んで実施しているため、プログラム内容が制限されてしまいます。

■ 成果

放課後子ども教室と児童クラブの垣根を越えて共通の体験プログラムに参加することで、同学年でもクラスの違う児童や、異学年の児童と交流することができます。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週5回

■ 参加人数

約16人/日

■ 主な活動場所

教室、体育館

■ 指導員数

約3人/日

放課後なかよし教室

—子どもの家（放課後児童クラブ）との連携型—

■連携型の概要

保護者や地域の人と協力して、子供たちを健やかに育むため、各小学校の余裕教室などを利用した「放課後なかよし教室」を設置し、運営しています。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・市内36校で実施しています。
- ・定員を設けていないため、誰でも自由に参加できます。
- ・工作や本の読み聞かせなど、子供たちが楽しく参加できるように活動内容を工夫して実施しています。

■連携型で実施するプログラム内容

- ・縄跳びやサッカーなどの外遊び
- ・イベントの共催

■課題

- ・スタッフの安定的な人材確保
- ・スタッフが休暇を取得した際の応援体制の構築
- ・登録費用のキャッシュレス対応

■成果

- ・他学年との交流や、工作、読書、ゲーム遊びなどを行うことで、多様な体験活動の場の提供ができています。また、参加人数に応じ、複数の部屋や体育館等での活動ができています。
- ・学校に行きづらくなったものの、放課後なかよし教室に参加する児童もいます。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

平均25人/日

■主な活動場所

余裕教室、図書室、体育館など

■指導員数

約3人/教室

土曜チャレンジ・アップ教室

—地域と連携したプログラムの実施—

■概要

地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子供たちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。

■特徴的なこと・工夫していること

- 参加者は費用負担なく、様々なプログラムを楽しむことができます。
- 大学生や法人の方の協力を得て多様な内容のプログラムを開催しています。

■プログラム内容

科学実験、英語講座、貯金箱工作 等

■課題

子供たちに有意義な土曜日を提供できる担い手の確保

■成果

- 他学年との交流や多様な体験活動の場の提供ができています。
- 楽しんで学ぶことができるような内容を提供できています。

■活動の様子



■開催状況

1校あたり年2～6回

■主な活動場所

家庭科室、図工室 等

■参加人数

約15人/回

■指導員数

2～5人程度/回

篠岡小学校放課後子ども教室

—篠岡小学校児童クラブとの一体型—

■ 一体型の概要

小牧市放課後子ども総合プラン事業の実施校の一つとなっています。放課後子ども教室の参加児童は24人で、全学年を対象にしています。児童クラブは参加人数約45人の中から、希望者が放課後子ども教室の実施する活動に参加しています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

合同活動の時は、放課後子ども教室と児童クラブの参加児童が、体育館に集まり、活動を行っています。両方の従事者が協力して指導・支援にあたっています。また地域の方を講師として招き、多種多様な体験活動ができるように工夫しています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

忍者ランド（運動）、音楽鑑賞、工作、読み聞かせ等

■ 課題

児童クラブの児童は、人数が多いため、内容によって全員参加となったり限られた人数の参加となったりするので、活動内容の工夫と参加児童の人数をバランスよく考えていく必要があります。講師の活用や活動内容を市内の小学校間で情報共有していますので、引き続き有効に活用して、合同活動の活性化につなげていきたいと考えます。

■ 成果

同じ小学校に通う子供たちが、合同活動で、普段とは違う友達と一緒に活動することにより、交流が深まり、互いにより刺激となっています。普段の学校生活で体験できない活動を行うことは、子供たちの多様で豊かな経験につながっています。また、指導員も互いに異なる事業を理解するよい機会となっています。

■ 活動の様子



■ 開催状況

月2回程度

■ 参加人数

約24人/日

■ 主な活動場所

小学校教室など

■ 指導員数

約7人/日

西春小学校放課後子ども教室

—西春児童クラブとの連携型—

■連携型の概要

西春小学校放課後子ども教室は、西春小学校に通う3～6年生の児童が対象です。西春児童クラブと連携し、この児童クラブに通う3～6年生全員が、毎日放課後子ども教室に参加しています。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・毎日、必ずタブレットかプリントによる宿題に取り組み、その後、タブレットによる学び直し学習に取り組んでいます。
- ・講師の先生を招いたり、スタッフが工夫して企画したりして、様々な体験活動を行っています。

■連携型で実施するプログラム内容

和 문화体験（浴衣、箏）、運動、己書、英語、工作等

■課題

- ・タブレットを有効に活用して、学習を進めていくように努めています。
- ・学校では体験できない有効な楽しい体験を実施するように努めています。
- ・運動の機会を増やして、体力を伸ばしていくように努めています。

■成果

- ・学習を毎日地道に続け、学習習慣が定着してきました。
- ・異学年で教え合ったり、助け合ったりすることができてきました。
- ・体験活動の継続により、質の向上が見られました。

■活動の様子



タブレットで学習



浴衣で盆踊り

■開催状況

週5回

■参加人数

約27人／日

■主な活動場所

小学校特別教室・体育館

■指導員数

約5人／日

西枇杷島放課後子ども教室

—地域の人材や施設を活用して実施—

■概要

小学校の施設・余裕教室を活用して、地域社会における児童の安全で安心な活動の拠点を設け、地域の方々の参画を得ながら、実情に応じて子供たちに遊びや自主的な学習、スポーツ、文化活動、体験、交流活動等を行う場所及び機会を提供しています。

■特徴的なこと・工夫していること

読み聞かせや工作、レクリエーション活動などで、ボランティアの方々に協力していただいています。

市の勤労会館の多目的室を利用し、年6回、ゲーム大会を行っています。

■プログラム内容

1年生対面式・ゲーム大会・絵本及び紙芝居など

■課題

日により参加メンバーや参加人数が違い、グループ分けが難しいところがあります。

指導員・補助員の交代体制の中で、指導にあたっての共通理解に努めています。

■成果

- ・コミュニケーション能力や他の子供と協力しようとする姿勢が身に付いています。
- ・自己主張とともに他の子供を受け入れようとする姿勢が身に付いています。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

約20人/日

■主な活動場所

小学校施設・余裕教室等

■指導員数

3人/日

きらり☆きっずルーム

(志水小学校放課後子ども教室)

ー志水小学校放課後児童クラブなかよし会との一体型ー

■ 一体型の概要

「きらり☆きっずルーム」は、志水小学校に通う1年生から3年生の子供が対象です。志水放課後児童クラブ「なかよし会」と連携し、自主学習の場や、スポーツ・文化芸能といったプログラムを実施しています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

地域のボランティアの方々、町職員の協力をいただき、様々なプログラムを実施しています

■ 一体型で実施するプログラム内容

英語、あみもの、サッカー、将棋など

■ 課題

- ・ 収容定員の増加（活動場所の増設）
- ・ 実施時間の延長
- ・ 対象学年の拡大
- ・ 新規プログラムの実施・講師の確保

■ 成果

- ・ 地域ボランティアの方々、町職員によるスポーツや文化芸能プログラムを実施することができている。
- ・ 放課後子ども教室と児童クラブの垣根を越えて、共通のプログラムに取り組めるので、子供たちはとても楽しく参加できている。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週5回

■ 参加人数

約15人/日

■ 主な活動場所

志水なかよし会クラブ棟

■ 指導員数

約2人～4人/日

豊山町放課後子ども教室（豊山小・新栄小）

—多様なプログラムによる活動—

■概要

安全・安心な子供の活動拠点として、体験活動やスポーツ、地域住民との交流活動等を行っており、運営は一般社団法人に委託しています。町内2小学校の空き教室を活用して、1年生～3年生を対象に月曜日から金曜日（給食のある日）の週5回開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・派遣講師による体験活動（箏教室、英会話教室等）
- ・豊山町国際交流員の協力によるレクリエーション
- ・宿題の習慣づけ

■プログラム内容

プリント、外遊び、自由工作、体験活動、レクリエーション等

■課題

- ・実施時間の延長
- ・対象学年の拡大
- ・放課後児童クラブとの一体化

■成果

- ・民間委託により、これまでになかったお箏教室や英会話教室、己書といったレクリエーションを活動に取り入れることができています。
- ・国際交流員協力によるレクリエーションにより異文化に対する理解が深まりました。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

約20人/日

■主な活動場所

余裕教室・運動場等

■指導員数

約3人～5人/日

古知野南小学校放課後子ども教室

－ 古知野南小学校学童保育所との一体型 －

■ 一体型の概要

月に1回程度、放課後子ども教室、学童保育所共に1・3年生を対象とし、基本的に全員参加として実施しています。他の小学校では、1・2年生を対象としている教室もあります。

■ 特徴的なこと・工夫していること

実施日は職員全員出勤（4名+アドバイザー1名）として、授業中（6時間目）の校舎内の移動や参加児童が増えることによる安全面などに対して、配慮しています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

読み聞かせ、ドッジボール、ミニゲーム、季節の工作など

■ 課題

対象者を1・3年生（1・2年生）の2学年以外にも拡大することや、各教室の実施者間でプログラム内容の情報交換をし、教室間でプログラム内容に大きな偏りがないようにするなど、人材育成をすることが課題となっています。

■ 成果

放課後子ども教室と学童保育所の垣根を越えて遊ぶことができ、児童も楽しく参加しています。また、外部講師による交通安全教室や環境教室を実施した教室もあり、児童へ学びの機会を提供できています。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週3回

■ 参加人数

約30人/日

■ 主な活動場所

校舎1階特別室

■ 指導員数

約3人/日

岩倉市放課後子ども教室

ー岩倉北小児童クラブとの一体型ー

■ 一体型の概要

放課後子ども教室は、原則毎週土曜日、市内の小学校5校で開催しており、対象は市内の小学校に通うすべての子供です。ただ、一体型として実施できているのは、児童クラブが学校敷地内にあり、土曜日に児童クラブが開催されている岩倉北小学校のみとなります。子供たちに対して運動面、文化面での活動の支援を子ども教室指導員と児童クラブ担当者が協力して行っています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

- 体育館には、放課後子ども教室用の様々な運動用具を備え、子供たちのニーズにできるだけ応えられるように努めています。
- 図書室では、読書だけでなく、もの作りやカードゲームなどもできるようにしています。学校によっては指導員が絵本の読み聞かせもしています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

- 図書室でのもの作り（裁縫、工作など）
- 体育館でのドッジボール、バドミントンなどの遊び

■ 課題

- ベテランの指導員がほとんどで、熱心に子供もたちと関わっていますが、若い指導員にももう少し加わってほしいと考えています。

■ 成果

- 指導員である地域の大人と子供たちとの交流をとおして、絆がより深まっているのを感じます。
- 大人とともに汗を流したり、ものを作ったりすることは、子供たちにとって貴重な経験であり、楽しそうに活動する姿を見ることが出来ます。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週1回

■ 参加人数

約44人/日

■ 主な活動場所

小学校体育館・図書室

■ 指導員数

約4人/日

放課後子ども広場

— 児童クラブとの一体型 —

■ 一体型の概要

放課後子ども広場は、町内の小学校1年生・2年生の児童が対象です。保護者の就労に関係なく、下校時から保護者のお迎えまでの間（夕方5時まで）、本人と保護者がともに参加できる子供の居場所づくりを目的とした活動をしています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

- ・ 曜日登録制の導入により、希望者全員参加可能です。
- ・ 希望すれば保護者も一緒に参加可能です。
- ・ 地域ボランティアの支援を積極的に活用しています。
- ・ 扶桑町文化祭作品展に「広場作品」として全員出品します。

■ 一体型で実施するプログラム内容 コンサートなど

■ 課題

コロナでの規制を緩和したことで、子ども広場の活動内容が個別の遊びから、友だちと関わっての遊びになった。コミュニケーションがうまくとれない時に友達とトラブルになることがある。また従来のように集団遊びを楽しめる環境になることが課題である。

■ 成果

- ・ 学校や地域の温かい支援を受けて、のびのびと活動することができています。また、ボランティアの支援により、日頃の授業では体験できないことを体験することができています。
- ・ 1年生から2年生に進級する時、多くの子供たちが継続を望んでいます。

■ 活動の様子



■ 開催状況

平日 5日

■ 主な活動場所

普通教室、公民館など

■ 参加人数

4施設合計で平均150人

■ 指導員数

4施設合計で15人/日

津島市放課後子ども教室

－多様な体験の機会を得られるプログラムを実施－

■概要

本市では、子供たちの安心・安全な活動の場を確保するとともに、様々な体験・交流・学習の機会を得られるよう「放課後子ども教室」を実施しています。学年を越えた交流や、季節の工作、イベントやプログラム等を行っています。

■特徴的なこと・工夫していること

地域住民の参画を得て、子供たちが様々な体験、多くの人との交流をとおして学びを得られるような体験を実施しています。地元企業と連携して開発した地場産業(毛織物)を学ぶプログラムを実施しています。

■プログラム内容

工作、毛織物学習プログラム、プログラミング学習キットなど

■課題

地域住民のボランティアによって支えられている事業ですので、いかに携わってくださる方を確保するか、そうした方々のスキルアップを図っていくかが課題です。

■成果

高学年の子供が低学年の子供に遊びを教える様子が見られるなど、異学年の交流ができています。

地域のボランティアが積極的に携わり、子供たちの成長を見守っています。

■活動の様子

《毛織物学習プログラム》



《季節の工作》



■開催状況

週3～4回

■参加人数

約10～60人/日

■主な活動場所

小学校の余裕教室等

■指導員数

3～6人/日

美和東小学校放課後子ども教室

—地域の高校生との新たな異世代交流—

■概要

地域の大人たちがボランティアスタッフとして参画し、学習活動、文化活動及びスポーツ等を行うことで、地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりに努めています。

■特徴的なこと・工夫していること

ボランティアスタッフが企画したプログラムのほか、外部講師を招いての防災教室など、様々なプログラムを行っています。今年度は県立美和高等学校地域活動部の皆さんを講師に招き、スノードーム作りを行いました。

■プログラム内容

季節の工作、体験活動、からだを動かす遊びやスポーツ等

■課題

ボランティアスタッフの慢性的な不足や高齢化が顕著であり、新たなスタッフの確保・育成や応援体制の充実が喫緊の課題となっています。

■成果

学校内で実施しているため、子供たちの安全・安心の確保につながっています。

県立美和高等学校地域活動部を外部講師に招くことにより、新たな異世代交流のきっかけとなりました。

■活動の様子



■開催状況

年13回

■参加人数

約12人/日

■主な活動場所

小学校体育館

■指導員数

約5人/日

大治町放課後子ども教室

- 子どもたちにとって居心地の良い場所づくりを目指して -

■ 概要

放課後子ども教室「のびのび子ども広場」は、町内3小学校に通うすべての子どもを対象として大治町立公民館にて実施しております。月1回程度開催しています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

地域の方々や中学生ボランティアに協力していただき、より小学生と近い距離で接することで、子どもたちにとって居心地の良い場所づくりを目指しています。
また、太鼓教室や食育あそびなどを通して、貴重な経験に触れられる場の提供を心掛けています。

■ プログラム内容

理科実験、食育あそび、昔あそび 等

■ 課題

指導員数が少数であり、毎回全員の指導者が参加できるわけではなく、ばらつきがあるため、常に全児童を視界に入れることができず、結果として怪我などにつながる恐れがあることが現在の課題です。

■ 成果

他校や異学年の児童と交流することにより、社会性や協調性が養われています。
放課後子ども教室をきっかけに放課後子ども教室に参加している児童が、他の事業に積極的に参加しています。
また、地域の方々もそれぞれの特色を生かした事業参加を行っています。

■ 活動の様子



■ 開催状況

月1回程度

■ 参加人数

約40人

■ 主な活動場所

大治町立公民館

■ 指導員数

約6人

半田市 放課後子ども教室

－多様なプログラムによる活動－

■概要

半田市では、週2回放課後子ども教室を開催しています。地域ボランティアの協力のもと、子供たちが友達や地域の方々と触れ合いながら、工作や外遊びなど好きな遊びをして過ごす放課後の居場所を提供しています。

■特徴的なこと・工夫していること

・イベントや作品展への出展等のため全員で同じものを作ることもありますが、活動への参加を強制することなく、子供の自主性を尊重し、やりたいことを自由に行っています。

・年3回講師を招き、人形劇、ハンドベル、手品等普段体験できないようなプログラムを実施しています。

■プログラム内容

宿題、ドッジボール、サッカー、工作、伝承遊び、ボードゲーム、カードゲーム、紙芝居、バルーンアート等

■課題

・コーディネーター、スタッフが不足しています。現在のスタッフが高齢化していく中で、いかに世代交代していくかが課題です。

■成果

・大人との関わりの少ない児童に対し、地域の方々が優しく子供たちと接してくれるため、最初は消極的だった子供たちが、自分のやりたいことを主張するなど積極的な姿が見られるようになってきました。

・それぞれ個性がある児童と交流することで、周りの児童が成長する姿が見られました。

■活動の様子



■開催状況

平日週2回、15時から16時

■主な活動場所

教室・図書室・体育館・運動場等

■参加人数

15～20人/日

■指導員数

6～7人/日

横須賀小学校放課後子ども教室

ー横須賀小学校放課後児童クラブとの一体型ー

■ 一体型の概要

- ・子ども教室と児童クラブを同じ小学校内で実施しており、活動場所は特別教室や体育館です。
- ・子ども教室に参加した児童クラブ利用の児童は、子ども教室指導員が児童クラブ室まで付き添います。

■ 特徴的なこと・工夫していること

- ・子ども教室への参加は登録制ではなく、毎月募集するため、様々な児童が子ども教室へ参加できます。
- ・コーディネーターや指導員は随時、児童クラブと情報交換を行い、児童クラブ登録児童の子ども教室への参加等、連携を図っています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

ビーチボールバレー、松ぼっくりのクリスマスツリーを作ろう等

■ 課題

- ・指導員の確保
- ・ボランティア講師（協働活動支援員）の高齢化
- ・実施場所の確保
- ・学校との連携

■ 成果

- ・児童クラブ、子ども教室を同じ小学校内で実施することで子供たちの安全安心な居場所を確保できます。
- ・児童クラブを利用する児童と利用しない児童が放課後に交流できる場となり、また、全児童に体験機会を提供できます。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週2～3回

■ 参加人数

約20人／回

■ 主な活動場所

小学校の特別教室

■ 指導員数

3～6人／日

新田小学校 放課後子ども教室

—新田小学校放課後児童クラブとの一体型—

■ 一体型の概要

放課後子ども教室は市内小学校に通う全ての子供が対象です。放課後児童クラブの子供は、登録料が無料で参加でき、子ども教室参加後、同じ建物内にある児童クラブ室へそのまま移動できます。

■ 特徴的なこと・工夫していること

放課後子ども教室のコーディネーターと放課後児童クラブの指導員が連携し、学校との連絡調整を図っています。「地域の子供は地域で育てる」の理念により、地域の方々にサポートスタッフとして講師をお願いしています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

歌、運動遊び、書道、バスボム、粘土、マジック、数独

■ 課題

地域のボランティアの方々によって支えられている事業ですが、高齢化などによりサポートスタッフが減少しており、新たな人材の確保が課題です。また、児童クラブ利用児童の急増により、子ども教室のスペースを減らしています。子ども教室参加者が多い講座は、児童クラブ利用児童の制限が必要になっています。

■ 成果

地域のサポートスタッフに講師として来てもらうことで、地域に顔見知りができ、つながりを深めることができます。活動をとおして、児童クラブと子ども教室の児童の交流や、高学年が低学年に教える、挨拶がしっかりできるようになるなど、成長している子供たちの姿が見られます。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週 5 日

■ 参加人数

約 28 人 / 日

■ 主な活動場所

余裕教室、運動場

■ 指導員数

約 3 人 / 日

東浦町アフタースクール

ー 学習活動を含むプログラム ー

■ 概要

町内の各小学校で、4～6年生を対象に週2日実施しています。活動の始めは、学校の宿題や学習に取り組みます。学習活動の後には、様々な室内遊びやスポーツに取り組んでいます。各種講座や行事を計画的に実施しています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

活動開始から40分程度を学習に取り組む時間に充てることで学習習慣の定着を図っています。

様々な室内ゲームやスポーツ備品の充実に努め、参加児童が楽しく活動できるように心掛けています。

■ プログラム内容

学習活動、室内遊び、体育館・運動場でのスポーツ、講座等

■ 課題

令和2年度以降、外部講師の招聘や講座の企画・運営に様々な配慮が必要となり、活動の実施が困難な状況が続いています。さらに新たな講師・講座の開拓をしていく必要を感じています。

実施校によって加入児童数に大きな差があります（最少19名、最多93名、平均50名）。登録児童数が多い学校での指導員の負担が大きくなっています。

■ 成果

学習活動に落ち着いて取り組むことができます。

学習後に室内で楽しく遊んだり、体育館や運動場で元気に遊んだりする姿が見られ、よりよい子供の集団づくりができています。

■ 活動の様子



■ 開催状況

各校週2日(月・火4校、木・金3校)

■ 参加人数

1校あたり17.0人/日

■ 主な活動場所

各校余裕教室、運動場、体育館

■ 指導員数

1校あたり2.6人/日

棚尾小学校放課後子ども教室

ー多様なプログラムー

■概要

1年生から3年生を対象に、小学校の空き教室を利用して週3日開催しています。指導者も元教師を中心に地域の方の参画を得て、子供たちと共に勉強やスポーツ、文化活動の推進をしています。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・子供の自主性を尊重し、そのニーズに合わせて指導員が付きながら見守りと学習の指導をしています。
- ・参加希望が多い場合は、保護者と相談して参加人数が均等になるように調整しています。

■プログラム内容

勉強及び宿題、スポーツ、文化活動など

■課題

- ・勤務時間が短時間で夕方前の忙しい時間帯のため、指導員の確保が難しいです。
- ・下校後も児童が学校に残るため、教職員に負担がかかります。
- ・各学校の空き教室の状況や学校の理解、指導員の確保、安全の確保などにより、新たな事業展開が難しい状況です。

■成果

- ・平成19年度から実施しており、これまでに多くの児童が参加しています。
- ・保護者にも本事業が認知されており、利用率が高く感謝の言葉をいただいています。
- ・近年では参加児童であった方や教員を目指す学生が指導員として活動することもありました。

■活動の様子



■開催状況

週3回（水・木・金）放課後2時間程度

■参加人数

約30名/日

■主な活動場所

棚尾小学校の空き教室

■指導員数

約5人/日

刈谷市放課後子ども教室（市内全15校）

－放課後児童クラブとの一体型－

■ 一体型の概要

月1回程度開催する体験教室へ、児童クラブの児童も参加可能としています。※感染症対策として、令和2年度以降合同での開催を中止していましたが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を契機に、段階的に再開し始めています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

体験教室ではスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行っています。

参加は回ごとの申込制となっています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

缶バッジ作り、ニュースポーツ、ダンス教室など

■ 課題

現在は子ども教室側で体験内容や講師の手配を行っていますが、児童クラブのスタッフも企画の段階から加わることで、合同の体験活動の活性化に繋がっていきたいです。

■ 成果

児童クラブの児童とともに活動できることで子供たちが活気づくだけでなく、スタッフ同士の交流によりスタッフの研鑽に繋がります。

普段の学校生活で体験できない活動が子供たちの多様な経験に貢献しています。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週2回

■ 参加人数

約22人/日

■ 主な活動場所

少人数教室、体育館等

■ 指導員数

約5人/日

寺子屋にしお（市内13か所）

－学校近くの公共施設や地域の寺などで開設－

■概要

小学1年生から3年生までのサードプレイスとして週2日、市内12箇所、放課後の安心・安全な居場所を提供するとともに、学習やふれあい活動をとおして、子供たちの交流を深めています。また、寺子屋学習会（市内1か所）は5年生・6年生を対象に地域の大学生が指導者となり、夏休みと冬休みに開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

外部講師を寺子屋1箇所につき年2回招き、お茶会、音楽会、手品などを体験しています。指導員対象の研修会や情報交換会を行っています。

■プログラム内容

宿題、工作、読み聞かせ、ドッチボール、鬼ごっこ等ゲーム

■課題

指導員の高齢化が進み、活動内容が同じようなものになっています。

特別な配慮が必要な子供の対応がうまくできる指導員が少ないです。

■成果

利用者アンケート（保護者対象）より、学校から帰ると宿題をする習慣が身に付いた。「他学年との交流があり、年上の人に挨拶ができるようになった。」などの意見があり、学習の習慣、コミュニケーション能力は身に付いてきています。

■活動の様子



■開催状況

各寺子屋は週2日 学習会は年10日

■参加人数

1寺子屋あたり平均12人/日

■主な活動場所

公共施設、寺など

■指導員数

1寺子屋あたり3人/日

来迎寺小学校放課後子ども教室

—子供たちの想像力を伸ばす教室—

■概要

来迎寺児童センターの2階で活動を行っています。放課後子ども教室は、放課後の子供たちの安全で安心な居場所づくりを地域の方々の協力を得て、知立市が小学校施設を活用して運営する事業です。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・各自で宿題や自主学習を進めています。宿題をした後、自由時間（遊び・読書など）を行います。
- ・リサイクル材料を使用した工作を実施しています。
- ・同じ建物内の来迎寺児童クラブと避難訓練等を合同で行います。

■プログラム内容

季節に合わせた工作や、けん玉などの昔遊びを行います。

■課題

- ・児童クラブと同じ建物内にありますが、道具等の管理の難しさや活動時間の違いから、合同プログラムの実施には至っていません。今後、実施に向けた話し合いを行っています。
- ・欠席連絡やお迎え時間の順守等について、保護者の方により協力が得られるよう努めています。

■成果

身近な物で、工夫して遊ぶ力が身に付いています。限られたスペースで、異学年が遊ぶことで、譲り合いの心育っています。

指導員は、子供たちに寄り添って活動を見守っています。よいことや気になることを子供たちに声を掛けて、居心地のよい放課後子ども教室の運営を心掛けています。

■活動の様子



■開催状況

週5日

■参加人数

約40人/日

■主な活動場所

来迎寺児童センター2階

■指導員数

約7人/日

北部小・天王小 放課後こども教室

—子供たちと地域の方との交流の場—

■概要

放課後に小学校内の教室等を利用し、子供たちに安全・安心な活動拠点を設け、様々な学習活動やスポーツ・文化芸術活動、交流活動などを、地域住民の参画を得て実施しています。

■特徴的なこと・工夫していること

利用児童は毎月のプログラムの中から参加したい好きなプログラムを選んで参加することができます。

実施校に在籍していれば、学年を問わず参加申し込みができ、利用料は無料です。（保険料は利用者が負担）

■プログラム内容

学習活動、体験活動、スポーツ、交流活動など

■課題

地域ボランティアの参加が要となる事業ですが、平日の午後4時から午後5時という時間帯で参加できる方が少なく、ボランティア人材の確保が課題です。

■成果

学校内に開設しており、子供たちにとって安心安全な居場所となっています。

今年度は地元の大学生や地域ボランティアと共に、スポーツ体験教室や工作教室などを実施することができました。

■活動の様子



■開催状況

週5日

■参加人数

約20人/日

■主な活動場所

特別教室、運動場など

■指導員数

3～5人/日

豊川市 放課後子ども教室

－全26小学校区で地域の方々が講師となり実施－

■概要

放課後や週末等に学校の余裕教室、生涯学習センター、市民館などを活用して、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得ながら、スポーツや文化活動などの取組を各教室年間10回程度実施しています。

■特徴的なこと・工夫していること

市内全26小学校区で、校区毎に地域の方々が講師となり、子供たちに様々な体験・交流活動などを提供しています。教室で制作した書道やアート作品は、生涯学習成果発表会（年2回）や各生涯学習センターでの展示を行ったり、生涯学習センター文化祭で茶道のお点前などを披露したりしています。

■プログラム内容

サッカー、テニス、剣道、書道、生け花、茶道、読み聞かせなど

■課題

- ・年々教室数が減少していることから、新規教室の開設や新規講師の募集に努めています。
- ・放課後児童クラブとの連携を図ります。

■成果

- ・他学年の子と一緒に活動することで普段の学校生活とは違うつながりが生まれ、交流の輪が広がります。
- ・地元の子供たちに地域の方々が講師となって教えることで、地域のコミュニティ形成に貢献しています。

■活動の様子



■開催状況

各教室年10回程度

■参加人数

約37人／日

■主な活動場所

生涯学習センター、小学校など

■指導員数

約9.3人／日

竹島小学校放課後子ども教室

－竹島小学校児童クラブとの一体型－

■ 一体型の概要

竹島小学校区では、小学校の敷地内に地区の公民館を移設しました。公民館内に、地域学校協働本部も置かれ、学校と連携をとりながら充実した地域学校協働活動が展開されています。放課後子ども教室は、公民館や学校で開かれ、児童クラブ登録者も参加可能となっています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

- ・地域の方々に講師やサポーターをお願いしています。
- ・事業については、公民館に共催していただいています。
- ・体験プログラムだけではなく、宿題や数人での遊びができる時間を設けています。

■ 一体型で実施するプログラム内容

モルック、ボッチャ、バランスボール、茶道、英語など

■ 課題

- ・小学校4～6年生を対象にしているが、参加者がまだ少ないので、低学年に対象を広げていくべきか。そのために、プログラムの内容をどう組み立てていくか。
- ・多様なプログラムを持続的に開催できるよう、講師やサポーターを確保すること。これまで以上に、事業を地域に広く周知していくこと。

■ 成果

- ・日常の中でなかなか体験できない活動ができ、来年度も実施してほしいという子供たちの声があった。
- ・地域学校協働活動が広まりつつあるためか、昨年度に比べサポーターだけでなく、ボランティアで参加される方が増えた。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週1回で全6回

■ 参加人数

8人/日

■ 主な活動場所

府相公民館・竹島小学校

■ 指導員数

約7人/日